

# 物価高騰に加えて 医療・介護 公的負担まで

あきる野市が

# 値上げ

物価高騰にイラン戦争が重なり、「何でも値上げ」「資材不足」が市民生活を直撃しています。そんな折に、市民の暮らしを守るどころか、この4月、あきる野市は様々な市民負担をさらに引き上げました。

年間約6000円!  
\*平均的な家庭  
16㎡/月で計算

## 下水道料金

28.5%値上げ

## 学童クラブ

4200円→5400円  
に値上げ

## るのバス

100円→200円に  
に値上げ

## 公共施設の 使用料

55施設で値上げ

## 後期高齢者 医療

平均1万6000円  
値上げ

## 国民健康 保険税

2年連続で値上げ

さらに! 市長給料まで  
86万円→94.6万円  
\*来期から

昨年: 1人平均約1万円  
今年: 18歳以上  
1人平均約5000円!

るのバスが往復400円になったので、外出を控えようかと思っている。気軽に乗れるようにしてほしい。(80歳代)

国と都が電気代や水道代を下げると聞いて喜んでいましたが、市が下水道代を上げたら結局変わらないのでは?(40歳代)

買い物に行くと、いつも買っていたものまで手がでなくなる。収入は増えず切り詰めてばかりで気持ちが暗い。(70代)

## 日本共産党は値上げに**反対**しました

	日本共産党	自民党 志清会	公明党	明るい 未来を 創る会	くさしぎ リメンバー
下水道料金	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
学童クラブ	反対	賛成	賛成	賛成	反対
公共施設の使用料	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
国民健康保険税	反対	賛成	賛成	賛成	反対
後期高齢者医療	反対	賛成	賛成	賛成	反対
市長給料	反対	賛成	賛成	賛成	反対

## 市民に負担を押し付ける 市政を変えましょう!

大切です。福祉と平和

# 関口 えり子

お問い合わせ 電話 042-808-9993 あきる野市秋留3-8-1  
2026年7月号外 発行/山根トミ江/あきる野市草花1814-5



## 日本共産党

日本共産党あきる野市委員会の活動をご紹介します

日本共産党あきる野市委員会発行

## あきる野民報

# 緊急提案

## イラン戦争から

# 市民のくらしと 営業を守る

「イラン戦争」の影響はナフサ不足など、くらしと営業に甚大な被害をもたらしています。政府は「目詰まり」「ナフサはある」と言いますが、実態に合っていません。

市として、実態調査や緊急の支援を行うほか、政府に対しても戦争終結や国民生活を守る取り組みを求める要望を市に提出しました。



実現に向け  
全力を尽くします

屋根用防水シートなど建築資材のどこかがストップすると全体が止まる。職人全体に影響が及んでいます。(建築関係者)

医療用の資材がなくなったら診療がストップするため、在庫を見たら高くても買わざるを得ない。(歯科開業医)

お菓子の袋が本当に白黒になって驚きました。テレビで政府は「大丈夫」と言うけど信用できません。(50代)



## 1 市に対する要望

- ▶ 実情調査、相談窓口・相談ダイヤルの設置
- ▶ 無利子・無担保融資など事業者への支援
- ▶ 生活費・学費など家計急変への支援
- ▶ 市指定ごみ袋など公的な料金を引き上げないこと

## 2 市から国・都に要望することを求める要望

- ▶ 戦争終結のために外交努力をつくること
- ▶ 流通の円滑化、事業者支援施策の推進
- ▶ 消費税減税など国民生活救済の対策

## 自民公明

## 資材不足にあえぐ事業者からの陳情を不採択

事業者からは「コロナ禍に匹敵」との厳しい声が聞かれる中、市議会に提出された「事業継続に向けた直接支援制度を国に求める意見書」を国に提出することを求める陳情は、自民党、公明党の反対で不採択となってしまいました。

	日本共産党	自民党 志清会	公明党	明るい 未来を 創る会	くさしぎ リメンバー
A 国への意見書	賛成	反対	反対	賛成	賛成
B 市への要望	賛成	反対	反対	反対	反対

A 「原油由来製品不足・価格高騰における中小企業等への直接支援制度の創設を国に求める意見書」提出を求める陳情書

B 原油・原材料高騰の打撃から経営難に直面する市内の事業者への支援を求める陳情書

# 日本共産党 は粘り強く **提案** してきました



- 実現** るのバス増台・増便
- 実現** 補聴器の購入助成  
65歳以上・住民税非課税者・補助上限4万円
- 実現** 学校給食の無償化
- 実現** 体育館にエアコン設置
- 実現** 学校のトイレ改修工事  
ようやく工事スタートするも、2校でストップ...

次は... **公共交通さらに充実を**

次は... **補助の拡大を!**  
18歳以上に・住民税課税者も・補助上限額の拡充など

**修学旅行の費用負担軽減**

次は... **就学援助の項目・対象拡大**

旧も早く **全校のトイレをキレイに**

生理用ナプキンの個室配置



大切です。福祉と平和

## 関口 えり子

### プロフィール

▶ 1966年旧秋川市草花生まれ。城西医療技術専門学校卒業後、理学療法士として中野共立病院に勤務。11歳で母親を亡くし、以後、祖母の介護・看取りを経験し、現在は父親と難病の弟と3人で草花に暮らす。業務を通じてリハビリをあきらめざるを得ない人を目の当たりにし、介護保険や医療費の負担の重さを実感。政治を変えるために山根とみえ議員の後継者として5年前に市議会議員となることを決意し、現在2期目。

▶ 補聴器の購入補助の実施を求め、市議会で繰り返し取り上げ実現。ただし、現在は対象者が狭く、補助額も少ないためこれを拡充すること、聴力検査の実施機会を増やすこと、購入後の調整もサポートすることなども求め奮闘中。

▶ 趣味はバイオリン。創設メンバーの一人として市民楽団に参加。音楽など文化活動のさかんな市政をめざす。



## 体育館・プール

なくさないで!

図書館・公民館も縮小



あきる野市が今年発表した「第2期あきる野市公共施設等総合管理計画」には、秋川体育館とファインプラザの体育室を統合することや、市民プールとファインプラザのプールを統合する可能性、他にも図書館や公民館など市内全体の公共施設を縮小していくことが示されています。

施設を削減すれば施設の経費は浮くかもしれませんが、市民の健康や文化活動、地域のコミュニティへの悪影響も計り知れません。

今ある公共施設を今の場所で! 全力を尽くします

## 戦争 する国家づくり 心配です

- 長距離ミサイル配備
- 武器の輸出 全面解禁
- 国旗損壊罪
- 平和憲法「改憲」推進
- 国家情報会議設置

横田基地の米軍機 住宅地上空の訓練は中止を

## 憲法を 生かす 政治を

私は「大切です。福祉と平和」をモットーにしてきました。市が「平和都市宣言」を行ったことはおおいに評価したいと思います。ロシア、イスラエル、アメリカと戦争が拡大しているため、平和の発信を強めなければなりません。

政府は「アメリカ言いなり」をやめ、「武器輸出」などを中止し、憲法を生かした平和外交に力をつくすべきです。

